

改善前



ロックスプリッタ 人カセット状況



割岩途中の地山状況

改善前は切羽直下に人が立ち入り、ズリ山かマンゲージを足場にして割岩を行っていた。下部が自由面となるため、すかし掘りの状態で割岩を行わなければならない、思わぬほうへクラックが入り割岩途中に上部から落石してくることが多々あり、大きなリスクを伴った。

改善後



鋼材で取付治具を作成



ロッド先端にロックスプリッタをセット



通常の削孔同様、ジャンボOPが運転席で操作



施工時のリスクを大幅に低減できた。
左右同時に施工も可能。

参考動画 [こちら](#)